

平成25年度 境港総合技術高等学校 第三者評価 評価書

【講評】

境港総合技術高校は、平成15年4月に開校し、水産学科・工業学科・福祉学科の3学科を有する総合選択制高校である。この特色を生かして、生徒の能力・適性、興味・関心に応じた授業を展開し、幅広い産業の技術を学ぶことができる。

「友愛・創造・自律」を校訓として、地域や地元産業界に貢献できる人材の育成をめざした教育にあたっている。このビジョンのもと、今年度は次の4点を重点目標として掲げている。①基本的生活習慣の確立、②基礎学力の向上、③キャリア教育の推進、④地域との連携と情報発信、この重点目標にしたがって、教職員が一丸となって教育活動に取り組んでいる姿が見られ、良好な学校運営がなされていると言える。

以下は、委員会として評価し、今後も継続・発展していただきたい主な事項である。

- ① 学習指導において、総合選択制の特色を生かした数多くの取組が展開されている。地域の人材を適切に活用するなど幅広い学びと実社会で求められる力の育成がなされている。
- ② 進学、就職ともに学年・学科・進路指導部が一体となって丁寧できめ細かな指導がなされている。就職率100%の実績、進学希望者の高い合格率など、目標実現のための総合的な取組は大変評価できる。
- ③ 校務分掌組織・任務分担が明確で、分掌組織図により一目瞭然に示されるとともに、報告・連絡体制などが確立され、組織が適切に運営されていることは評価に値する。自己評価に関するPDCAサイクルが確立され、校内の運営委員会も機能している。学校評議員や学校関係者評価委員は、様々な立場から選出され、活発に意見交換が行われている。学校運営全体について、改善意欲が高いと認められる。
- ④ 今年度、30回以上の新聞記事掲載、PTA便り、学年通信、生徒会通信など情報発信に努め、生徒・保護者はもとより、県民の関心を引きつけていることは高く評価できる。

一方、以下は、今後改善していただきたい主な事項である。

- ① 学習指導について、生徒による授業評価を基に改善点などが教科で検討されている。しかし、教職員相互の授業参観による研修の機会が少なく、今後、組織的な取組の推進が望まれる。
- ② 学校の教育理念や教育目標について、年度当初に教職員へ周知されているが、その浸透について一層の工夫が望まれる。
- ③ 自己評価において、保護者アンケートが実施されておらず、早急な対応が望まれる。PTA活動への保護者の参加について、保護者アンケートによりニーズを把握するなど活性化への取組が必要である。
- ④ 生徒指導に関して、問題の未然防止などに取り組んでいることは評価できる。今後、遅刻者の減少など家庭との一層緊密な連携が望まれる。また、部活動について、一層の活性化のために加入促進の努力が望まれる。
- ⑤ 教職員自ら5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）の意義を理解した上で、学習環境について生徒指導にあたっていただきたい。